

青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース

青少年ネット利用環境整備協議会の取り組み

～青少年によるSNS等の利用に係る保護者等の判断を助ける情報発信～

2019年7月

青少年ネット利用環境整備協議会

【前回の資料より】 青少年によるSNS等の利用に係る保護者等の判断を助ける情報発信

青少年によるSNS等の利用に係る保護者等の判断を助ける情報発信について（案）

概要

青少年のスマホ利用が増加し、ゲームやSNSなど利用ニーズも多様化。こうした変化に応じ、より安心・安全な利用ができるよう、新たに以下の取組を実施。

青少年ネット利用環境整備協議会がコンテンツプロバイダーからサービスに関して保護者等が必要とする情報を体系的に集約し、安心ネットづくり促進協議会などに提供。

安心ネットづくり促進協議会などにおいて、情報の客観性等を確認・担保したうえで、保護者等に情報発信。

現在のフィルタリング

■ フィルタリング

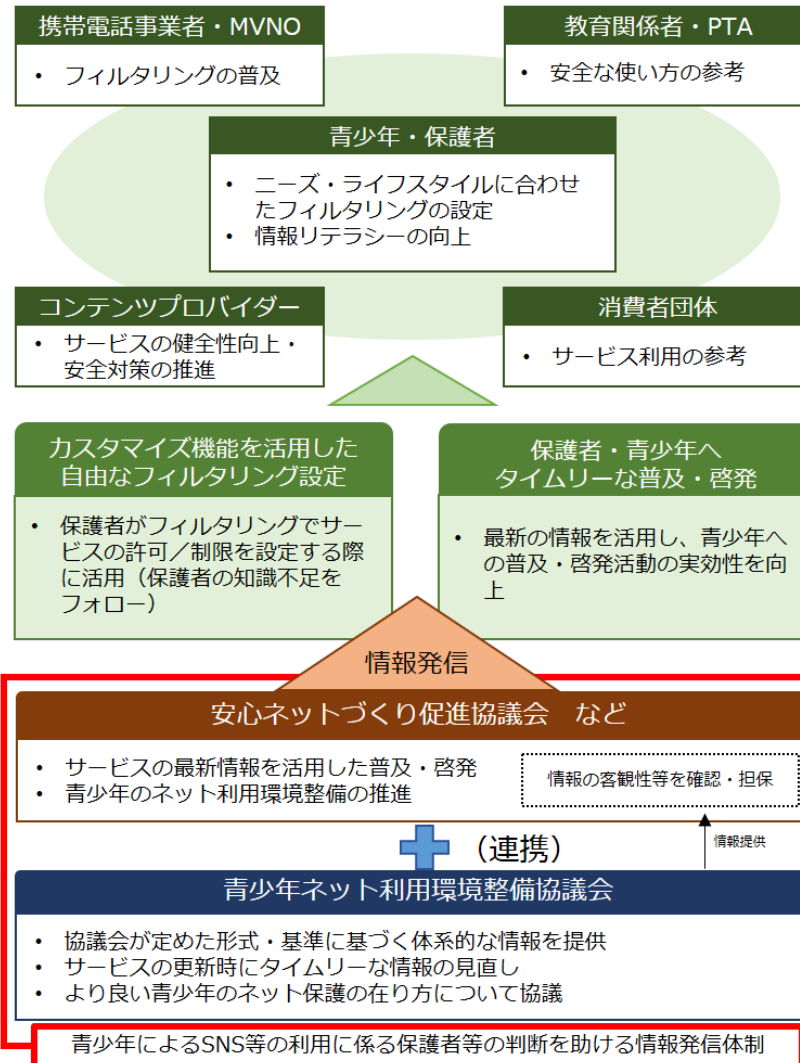
フィルタリングが許可/制限を判定（特定分類アクセス制限方式）

※SNSは、青少年にも利用が深く浸透しているものの、カテゴリ分類により利用が制限されており、青少年に利用させる場合は、保護者による個別設定（カスタマイズ）が必要となる。

■ スマートフォン・携帯電話でフィルタリングを利用していない理由

- ・ フィルタリングで使えない（制限されている）サービスやアプリを子どもに使わせるため：7.3%
- ・ フィルタリングの設定やカスタマイズが難しいため：6.5%
- ・ 特に必要を感じない：15.6%

平成29年度 青少年のインターネット利用実態調査（内閣府）



情報提供フォーマットの検討

- 青少年ネット利用環境整備協議会により統一されたフォーマットでサービスの情報を提供
- サービスの説明、および青少年利用における影響（トラブル事例等）と対策に関する情報を提供
- 新機能など、サービスに変更があった場合、随時更新を行い、最新の情報を提供
- 今後、安心ネットづくり促進協議会と連携し、情報を掲載する媒体や閲覧するデバイス等（スマートフォン用など）に適した情報の形式を検討していく

現在検討中の情報提供フォーマット案

アイコン	サービス名	作成日/更新日
	事業者名	

主な機能 Main features

【サービスの概要】

- サービスのメイン機能の説明
- 青少年の利用に影響する機能（主にコミュニケーション）の説明
- 年齢制限等の説明

安心・安全な利用のために
For safe and secure use

【トラブル事例等】	【トラブル事例等】	【トラブル事例等】
▽	▽	▽
【トラブルに対応する対策や機能の説明】	【トラブルに対応する対策や機能の説明】	【トラブルに対応する対策や機能の説明】

青少年ネット利用環境整備協議会
青少年の安心・安全なネット利用のために参加事業者が提供するサービスの情報を提供しています。

情報提供フォーマット（サンプル）



LINE

LINE株式会社

主な機能 Main features

- ・ **トーク**：友だちに文字、「スタンプ」というイラスト、写真や動画、音声、位置情報を送ることができます。複数の人に連絡をする際には、グループトークで一度に用件を伝えることができます。
- ・ **通話**：音声通話やビデオ通話を利用することができます。電話回線ではなく、インターネット回線でつなぐため、電話料金はかかりません。また、音声・ビデオ通話は複数人で利用することも可能です。
- ・ **タイムライン**：テキストや画像、動画やスタンプで自分の近況を共有したり、友だちの近況を確認したりすることができます。世界中のLINEユーザーと交流することができますが、「見せたくない相手に自分の投稿を見せない」または「見たくない相手の投稿を見えなくする」ために、「公開範囲」の設定を行います。
- ・ **友だち**：LINE上でメッセージの送信や通話ができる相手として登録されているのが「友だち」です。友だちの登録方法は大きく分けて2つあり、電話番号に登録された電話番号を使って自動的に登録する方法と、手動で登録する方法があります。登録している友だちは「ブロック」「非表示」「削除」という手段で管理することができます。



安心・安全な利用のために For safe and secure use

<h4>見ず知らずの人と友だちになってしまう</h4>	<h4>学校の友だちなど知り合い同士のグループ内でのいじめ</h4>	<h4>迷惑メール業者トラブル</h4>
<h4>ブロック機能</h4> <p>友だちになった相手とのつながりを拒否する方法として、ブロック機能を提供しています。ブロックしても相手には伝わりませんが、相手からのトークや通話を受信することはできなくなります。</p> <h4>年齢情報を用いた機能制限</h4> <p>青少年の出会いによるトラブルを未然に防ぐため、携帯電話会社が提供する年齢認証機能を利用して、18歳以上を確認しています。確認できない場合にはLINE ID検索などの一部機能に制限を設けています。携帯電話の契約時に、正しく利用者の申請をしましょう。 <small>※格安SIMを利用している方は、年齢認証をすることができない場合があります。</small></p>	<h4>トラブルに巻き込まれないための「考え方」と「使い方」</h4> <p>青少年のトラブルを未然に防ぐために、まずは、大人自身が使い方やネットマナーに関する知識を得ることが肝心です。LINEの設定次第で回避できる部分は設定方法をお子さまに教え、また、他人とのコミュニケーションに関するマナーや、インターネットに潜む危険をご家庭や学校などで、正しい「考え方」と「使い方」の両面で十分に話し合ってください。</p> 	<h4>身に覚えのない「非表示」が決して反応してはいけない</h4> <p>設定によっては、見ず知らずの相手から連絡が届くことがあります。知らない相手からしつこく友だち追加されたり、身に覚えのない買品や買金の当選通知などが届いたりしても、決してそれに応答してはいけません。多くの場合、詐欺の常套的な手段だからです。また、LINEを語るフィッシングメールも要注意です。</p> <h4>通報機能</h4> <p>LINEの友だちではない人からトークが送られてくると、「ブロック」「通報」のボタンが表示されます。身に覚えのない人からの迷惑なトークは、すぐにLINEに通報することができます。</p>

※詳しくは「LINE安心安全ガイド」(<http://linecorp.com/ja/safety/index>) ご参照ください。

青少年ネット利用環境整備協議会
青少年の安心・安全なネット利用のために参加事業者が提供するサービスの情報を提供しています。

※現時点では、サンプルであり、検討中の内容となります。

青少年ネット利用環境整備協議会

児童が安心・安全に利用できるインターネット環境を目指し、コミュニティサイトに起因する児童被害防止の取り組みを業界全体で推進するために2017年7月に設立。

【代表】

- ・ 穴戸常寿（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

【幹事社】

- ・ グリー株式会社
- ・ 株式会社サイバーエージェント
- ・ 株式会社ディー・エヌ・エー
- ・ フェイスブック ジャパン株式会社
- ・ 株式会社ミクシィ
- ・ LINE株式会社
- ・ Twitter Japan 株式会社

【参加企業】

- ・ 株式会社アップランド
- ・ 株式会社イグニス
- ・ ココネ株式会社
- ・ 合同会社スタープリンス
- ・ 株式会社ナナメウエ
- ・ ナノ・コミュニケーション株式会社
- ・ モイ株式会社
- ・ 株式会社ユードー
- ・ 株式会社Bob
- ・ Bytedance株式会社
- ・ 株式会社ITI
- ・ 株式会社studio C
- ・ Social Town

【有識者】（五十音順）

- ・ 小松正（多摩大学情報社会学研究所客員准教授）
- ・ 塩田真吾（静岡大学教育学部准教授）
- ・ 竹内和雄（兵庫県立大学准教授）
- ・ 田代光輝（慶應義塾大学政策メディア研究科特任准教授）

【協力官公庁】

- ・ 警察庁

【協力団体／事務局】

- ・ 一般財団法人 情報法制研究所

(2019年7月時点)

情報モラル講師知見共有研修会

第2回

高校生自らがSNS等に起因する事犯の被害を減らすために考えるワークショップ

主催 青少年ネット利用環境整備協議会
後援(申請中) 警察庁、文部科学省

2019年8月3日(土)
10:30-16:30

参加費
無料

開催場所	スケジュール
東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー 23階 (LINE株式会社 オフィス)	10:00-10:30 受付
※入館方法: JR新宿ミライナタワー5階で受付をいたします。	10:30-10:45 主催者挨拶
対象者	主旨説明 (監修: 藤川大祐 千葉大学教授)
高校生 (40名予定)	10:45-11:30 官公庁ならびに事業者より 現状の取り組みや対策に関する説明
内容	11:30-12:30 休憩
自画撮りや出会いなどの被害児童数は、様々な取り組みが行われているにもかかわらず高止まりしている状況です。これまでの状況や関係者の最新取り組みについて学んだ上で、高校生自らが「被害児童数を減らす(被害を減らす)こと」について考えるワークショップを実施します。	12:30-15:30 ワークショップ
参加申込・参観申込	15:30-16:25 高校生による意見の発表
QRコードあるいは各URLよりお申込ください。	16:25-16:30 講評
■参加学校用フォーム https://ws.formzu.net/fgen/S39084413/	16:30 終了予定
■参観者用フォーム https://ws.formzu.net/fgen/S72192335/	※ド切は【7月20日(月)17:00まで】とさせていただきます。 ※参観者多数の場合、参観者は立ち見になる可能性もございます。

問合せ先 青少年ネット利用環境整備協議会 事務局
TEL 03-4316-2112 (平日10:00-18:30) (LINE株式会社 公共政策室 高橋)

第5回

情報モラル講師知見共有研修会

主催 青少年ネット利用環境整備協議会
後援(申請中) 警察庁、文部科学省

2019年8月4日(日)
13:30-16:30

参加費
無料

開催場所	スケジュール
東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー 23階 (LINE株式会社 オフィス)	13:30-13:40 主催者挨拶 & 進行説明
※入館方法: JR新宿ミライナタワー5階で受付をいたします。	13:40-14:20 子どもたちのインターネットのウェルビーイングと情報モラル 慶應義塾大学 齋藤 長行 様
対象者	子どもたちのネットの善悪とは何か? 子どもたちのネットの善悪・健康のために 情報モラル教育は何ができるのか
内容	14:20-14:40 海賊版サイトから考える情報モラル 株式会社集英社 編集総務部 伊東 敦 様
情報モラル講演をしている講師ならびに 情報モラル講座を実施している教職員など	14:40-14:50 休憩
参加申込	14:50-16:30 パネルディスカッション 情報モラル講師に必要な視点とは 事件やトラブルを減らすための講演とは
右記QRコード あるいは 下記URLより お申込ください。	16:30 終了予定
https://ws.formzu.net/fgen/S14765338/	※ド切は【8月2日(金)17:00まで】とさせていただきます。

問合せ先 青少年ネット利用環境整備協議会 事務局
TEL 03-4316-2112 (平日10:00-18:30) (LINE株式会社 公共政策室 高橋)